

# アジャイル型監査の導入・定着支援 サービス

内部監査部門の組織変革を通じて

## アジャイル型監査とは

ビジネスの変革スピードが加速する中、よりスピーディなリスクの捕捉や、プロジェクト監査における統制の有効性評価など、ステークホルダーが内部監査に期待する価値提供が変化してきています。内部監査部門は、合理的な保証の提供から信頼されるアドバイザーへと進化することが望まれています。そのようなニーズに応えるため、監査の進め方やチーム構成に関するアプローチとして、アジャイル型監査が注目されています。

アジャイル型監査をスムーズに導入し、その効果を最大化するためには内部監査部門全体の意識改革とトランسفォーメーションが必要です。PwCは、貴社のビジネス・パートナーとして、強固な組織基盤を確立し、未来志向の内部監査部門の構築をご支援します。

## アジャイル型監査の導入・定着に向けたPwCの組織変革アプローチ

第1フェーズ: 認知	第2フェーズ: 実践	第3フェーズ: 定着
<ul style="list-style-type: none"> <li><b>ワークショップ</b> 部門横断的なワークショップで情報収集とインサイトの共有を推進する。</li> <li><b>リーダーシップの変革</b> アジャイルなアプローチに関してのマネジメントからの支持を確立する。</li> <li><b>監査プロセスの理解</b> アジャイルな手法を導入可能監査領域を特定するために、現行の監査プロセスを理解する。</li> <li><b>試験的運用</b> 特定の監査でアジャイルな手法を試すことにより、その効果と改善に向けてのポイントを検証する。成功裏に導入できることを実証した上で、マネジメントからの支持をより強固なものとする。</li> <li><b>アジャイル・プレイブックの作成</b> アジャイルを適用する監査についての手順・方針を定める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>アジャイル型監査プラクティスの確立</b> 試験的運用で得られた教訓を踏まえより大規模な監査チームに対してアジャイルを適用する。チーム全体で一貫したプラクティスを確立し、より組織全体に汎用可能なアジャイル型監査のモデルを確立する。</li> <li><b>監査の変革</b> アジャイル型の変革を導入するチームを特定し、スprintの反復を数回行った上で、自らアジャイルなプロセスの管理ができる状態を目指す。</li> <li><b>効果を測定する</b> 重要業績評価指標や継続的モニタリングにより、アジャイル型監査の導入効果を測定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>アジャイルの適用対象の拡大</b> 監査チーム全体にアジャイル原則を取り入れる。</li> <li><b>アジャイル推進のためのテクノロジー</b> アジャイルな内部監査活動を支援するためのツール(カンバンボード等)にテクノロジーを導入する。</li> <li><b>継続的な改善</b> アジャイルの概念の適用により監査部門を継続的に改善する。</li> </ul>

## アジャイル型監査に関するよくある誤解

誤	正
■ アジャイル型監査では口頭報告しか行われない?	□ アジャイル型監査でも保証の成果物としての報告書は作成します。ただし監査レポートは数十頁に及ぶものではなく、より重要なポイントに的を絞ります。
■ アジャイル型監査では監査計画を作成しない?	□ 監査計画は策定しますが、それに固執するのではなく、途中経過や被監査部署からのフィードバックを踏まえ、計画を柔軟に見直します。
■ アジャイル型監査では監査手続きを省略する?	□ アジャイル型監査だからといって、必ずしも監査手続きを省略するものではありません。リスクベースで判断し、監査上リスクが高いと判断されるものにより焦点を当て効率的に監査手続きを実施します。

## PwCのサービス内容

### 監査組織体制の変革

- 内部監査部の組織構成の変更
- 監査チーム構成の変更
- 品質管理体制の変更

### 内部監査メソドロジーの変革

- 監査手続きの変更
- 審査プロセスの変更
- 監査報告書の変更
- 監査ツール・システムの変更、それらの利用方法の変更

### ハンズオン型の導入支援

#### アジャイル・コーチング

- 内部監査におけるアジャイル手法の適用に関する研修
- 導入段階でのペインポイントを特定するためのワークショップ

#### 試験的導入

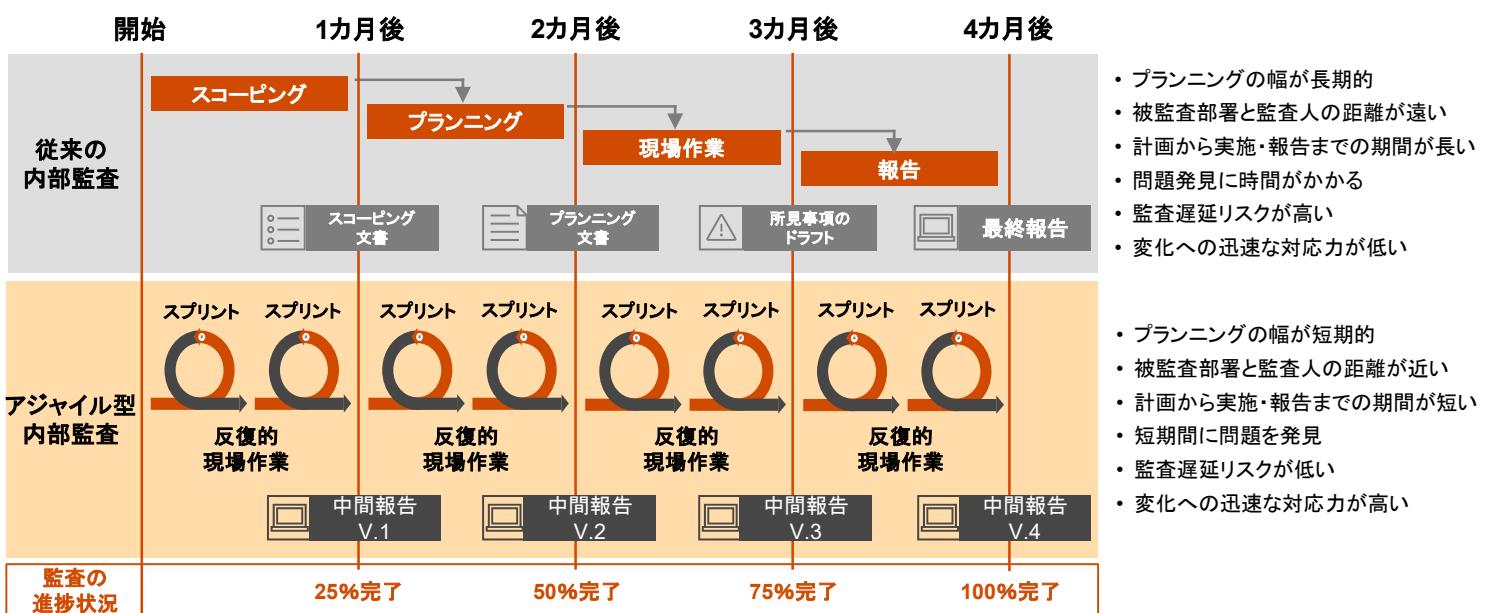
- 監査バックログの作成支援
- 作業項目の優先順位付けに関する助言の提供
- スプリントによるアジャイル手法の導入支援
- アジャイル・プレイブックの作成支援

アジャイル型の監査では、コンパクトなチームで小さなPDCAを繰り返しながらプロジェクトを進めていきますが、計画策定やスプリントのレビューに被監査部署を巻き込んでいく必要があります。そのため、従来の監査手続きや報告書の構成など、内部監査のメソドロジーの変革や、内部監査部の組織構成・チーム体制そのものをアジャイルなアプローチに合わせて変革する必要があります。

PwCではグローバル企業のアジャイル型監査導入支援の実績が多数あり、貴社のニーズに合ったハンズオン支援が可能です。

#### アジャイルの導入で得られるメリット

- ✓ 事後的な保証でなく、リアルタイムに近い保証が提供でき、事業側も迅速な是正措置がとれる
- ✓ 事業側とのコラボレーションにより、価値の低い作業を排除し、より価値の高い監査に資源を割ける
- ✓ 監査プロセスの大半をチームが一緒にすることで全体理解が深まり、メンバーのレベルアップにつながる



### お問い合わせ

#### PwCあらた有限責任監査法人

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビルディング  
TEL : 03-6212-6800(代表) [www.pwc.com/jp/assurance](http://www.pwc.com/jp/assurance)

#### 辻田 弘志

パートナー  
hiroshi.tsujita@pwc.com  
090 1424 3247

#### PwCあらた有限責任監査法人のご紹介

PwCあらた有限責任監査法人は、卓越したプロフェッショナルサービスとしての監査を提供することをミッションとし、世界最大級の会計事務所であるPwCの手法と実務を、わが国の市場環境に適した形で提供しています。さらに、国際財務報告基準(IFRS)の導入、財務報告にかかる内部統制、また株式公開に関する助言など、幅広い分野でクライアントを支援しています。

#### PwC Japanグループ

PwC Japanグループは、日本におけるPwCグローバルネットワークのメンバーファームおよびそれらの関連会社(PwCあらた有限責任監査法人を含む)の総称です。各法人は独立して事業を行い、相互に連携をとりながら、監査およびアシュアランス、コンサルティング、ディールアドバイザリー、税務、法務のサービスをクライアントに提供しています。